

2011年度委員会事業報告書

J Cプライド推進室 室長 青山 巧
LOMの輝き委員会 委員長 保田秀己

1. 委員会開催日 (21回)

1 / 15 1 / 25 2 / 7 2 / 21 3 / 3 3 / 29 4 / 6
4 / 26 5 / 23 6 / 13 7 / 27 8 / 8 8 / 19 8 / 25
9 / 14 10 / 12 11 / 4 12 / 6 12 / 9 12 / 17 12 / 22

2. 事業報告

①クリスマス家族会・卒業生を送る会(12月例会)の担当	12月18日
②LOMの輝きに関する事業	4月9日
③一般社団法人格の取得に関する担当	通年
④卒業生記念品の選定記念品の選定	12月18日
⑤サマーコンファレンス(横浜)の担当	7月16日～7月17日
⑥日本JC全国会員大会(名古屋)の担当	9月30日～10月2日
⑦わんぱく相撲(5月例会)への参画	5月21日
⑧JCデー(8月例会)への参画	8月13日
⑨ローカルマニフェスト型公開討論会への参画	4月15日
⑩新入会員の拡大	通年

3. 委員会メンバー

保田秀己 栗木利江 木下 進 石井宏明 佐藤壱久 林 英人

4. 反省点及び申し送り事項

当委員会是一般社団法人格の取得に関する担当として、申請作業を確実に前に進めるということ
を重視し、社団法人海部津島青年会議所と愛知県とのパイプ役として協議を進めてまいりました。

予定者の段階から、愛知県の担当者と電話、メール等で意思疎通を図り、進めてまいりました。
その結果、定款の提出、会計書類の提出および修正、定款新旧比較表の提出、公益目的支出計画の
事前相談書類の作成、正味財産増減予算書の作成そして提出を年度内中にすることができました。
公益法人として蓄積してきた遊休財産を、将来に渡って支出していく計画を公益目的支出計画とい
い、また愛知県と当青年会議所の間で、公益目的支出計画は、青少年の健全な育成に寄与する目的
のわんぱく相撲と、地域に対して青年会議所が明るい豊かな社会を目指し活動している姿を披露す
るJCデーの二つに絞って一般社団法人の申請を行うことが、愛知県の担当者と共有できたことも
成果でした。しかしながら、当委員会は、今年度の法人格移行の承認という答えを愛知県からいた
だけなかったことが反省点であります。申請作業は青年会議所のスケジュールで行われることはな
く、あくまでも月1回程度、行われる愛知県の公益認定委員の委員会開催に合わせて、そのための
事前協議を、粛々と行っていくことが大事です。次年度もこの書式を使って、認定委員の委員会開
催に合わせた申請作業が行うことが重要であると考え、申し送ります。

一方の担いとして、交流事業や渉外事業を担当させていただきました。1年間を通して、当青年会議所がさまざまな舞台で青年会議所運動を継続していけるよう、委員会メンバーと一緒に、LOMが輝くように運動を目指してきました。自らが率先して楽しもうとする心を持っていただくために、特に、青年会議所に入ってまだ経験が浅いメンバーとさまざまな経験をしてきたメンバー間が率先して楽しもうとする心をもてるように配慮しました。参加することが強制でなく、体を動かしスポーツをすることが役職や経験と関係なく、新たな一面を発見し、友情を育み、青年会議所は楽しい場であるという風土作りを委員会で作成することができました。

自らの意思で参加を促すことによって自主的に楽しむことを経験していただき、笑いから生まれる一体感から、互いを信頼し、友情を深め、JC運動をより強固なものに醸成することができました。

また12月例会では、厳粛な設営を心がけると共に、強制感を持って参加するのではなく、自らの参加を促すことによって自主的に楽しむことを経験していただき、笑いから生まれる一体感から、互いを信頼し、友情を深め、JC運動をより強固なものに醸成することができました。

また、本年度は副主管として、第60回全国大会の名古屋大会の設営を当委員会が設営できたことで、全国のメンバーが一堂に会し、そしてその友情を深め合う場に参加し、全員登録という形で体感できたこと、たくさんのLOMメンバーにブース出展を手伝って頂き、その場がとても楽しく、スケールが大きく、そしてかけがえのない経験ができたことはLOMにとって貴重な財産であったと考えます。しかし、対外事業において主管、副主管を担当する場合は、担当する立場としての情報収集に不慣れな点ができるので、その情報を委員会メンバー、LOMメンバーにスムーズに伝達できるようにすることが必要です。情報発信の場を複数用意し、いろいろな場所でアピールすることでLOMメンバーのより積極的な参加を促すことが必要と考え、申し送ります。

5. 委員長所見

1年間を通して、一般社団法人格の取得と交流及び渉外をすることでLOMがいつそう輝くようにするように活動をしてまいりました。一般社団法人格の取得については、自身の詰め甘さから、申請作業が遅れてしまったこと、そしてその重責を与え、一年間励ましてくださった、理事長を初めとするスタッフ、委員会メンバー、LOMメンバーそして愛知県の中小企業金融課のスタッフには大変重い責任を感じております。また、つらいときに励ましてくれたことも事実で、感謝も忘れてはいけないと考えています。次年度以降この申請作業が粛々と継続していくことが重要であると考えます。

担当した事業では、体を動かし、純粋に楽しみ、メンバー同士に不思議な一体感が生まれました。自身にとって、その当日までどれほど準備しても足りない不安になりました。メンバーに楽しんでもらえるか不安でしたが、入会年度が浅いメンバーも積極的に参加していただき、大変感激をする事業でした。

対外事業においては、参加率を上げるために委員会で、今までとは違った雰囲気を感じていただけるよう心がけ、今までとは違った魅力を提供できたのではないかと思います。

また副主管として重責を担った当LOMの全国大会の窓口として、皆様の協力の下、ブース出展を担当し、LOMメンバーと一緒に空間を共有できたことは大変貴重な経験でした。一方で情報共有の大切さ、そして、責任の分担等をもっとスムーズにお伝えし、みなさんと協力を図れたらさらに当LOMにとって貴重な財産になったのではないかと考えます。

クリスマス家族会・卒業生を送る会では、オンとオフをしっかりと委員会メンバーで設営できた

のではないかと思います。理事長の思い、家族の笑顔、卒業生の言葉をしっかりと自身の目に焼き付けることができました。1年間を通して、皆様のご協力と温情と優しさを感じ、人に対して感謝の気持ちを持つこと、そしてそれを恥ずかしながら伝えることをこれからの自分の課題として行っていきたいと思っています。最後になりますが、私を支えてくれた委員会メンバーや、議案等で大変ご迷惑をかけた理事会構成メンバー、スタッフ、監事、そして積極的に事業に参加して下さったLOMのメンバーに感謝です。本当にありがとうございました。

6. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	160,000	事業費	154,591	②	10,000	②	9,691
				④	150,000	④	144,900
合 計	160,000	合 計	154,591	合 計	160,000	合 計	154,591